

酸ヶ湯温泉&八甲田スノーシュー

M・T

期 日：3月15（月）～17（水）

コース：（15日）東京～新青森～八甲田スキー場～酸ヶ湯温泉

：（16日）酸ヶ湯温泉→八甲田スキー場→酸ヶ湯温泉

：（17日）酸ヶ湯温泉→青森→新青森→東京

参加者：M・T M・S S・K H・H

報 告：



立派な新青森駅だが、周囲は全く開発されていない。食事処も少ないので事前に教えてもらった駅構内の立ち食いそば処で済ませた。

冬季1日3本青森駅から運行されるJRバスみずうみ号に新青森から八甲田ロープウェイ山麓駅前まで乗車。予約必要無しです。



山頂駅までロープウェイで上がる。



山頂駅にてスノーシュー装着。田茂菴岳付近です。10数人のツアー団体と一緒にになり、彼らは右回りで歩きだしたので、こちらは左回りで歩きだした。この日は時間があまり無いので、山頂駅付近で足慣らし歩行。

青空が広がり気持ちの良い日だった。





田茂范岳から
1521ピーク～赤倉岳～井戸岳～大岳
と続く山並み。
岩木山も微かに浮かんで見える。

スノーシュー開始。期待していたスノーモンスターは
哀れな姿で待っていた。やはり、遅すぎた。



ふかふかの雪の中に飛び込みたい。
アオモリトドマツ（オオシラビソ）の
スノーモンスターを楽しみにしていた
のだが、残念。

短時間では有ったが、雪遊びを楽しみ
ロープウェイ山麓駅から16:00発
の酸ヶ湯の送迎バスで酸ヶ湯温泉に向
かった。





数年振りの酸ヶ湯。厳冬期軒下にぶら下がる長い氷柱も3月は見ることが出来ずに少しがっかり。強酸性の千人風呂を楽しむ。混浴と言っても仕切りがされているので、女性専用の時間帯でなくても入浴可能。打たせ湯に行く勇気がなかったが。

翌16日のロープウェイ山頂駅曇っている。



オレンジの看板はフォレストコースを表示している。



山頂駅からダイレクトコース3.5キロとフォレストコース5キロその他のスキーコースが有る。今回は、距離は長いが比較的緩斜面のフォレストコースを歩くことにした。事前調査でコース上にはオレンジポールが立てて有る事を知りいくらか安心して臨んだ。



青森市街地と陸奥湾を眺めながら下山開始。私達以外誰も居ない。ロープウェイに乗っていた人たちは皆何処へ行った？

昨日の様に青空は無く薄曇りの日だが眺望は良かった。

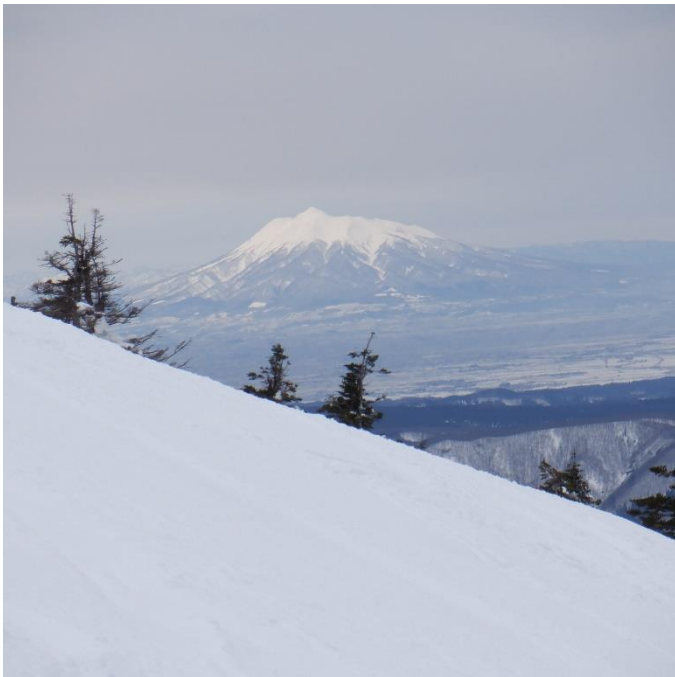


山頂付近は風が強かった。
何故か誰も居ないスキーコース。
案内板は1から2と順番を追って書かれていたが、全体の何分の幾つか示されていないので歩いた距離が把握しにくかった。

コース東側に見える前嶽



晴れていた昨日より薄曇りの今日の方が岩木山がはっきりと見える。



スキーヤーならジャンプする所だが、私達は慎重に下りる。尻シェードも短すぎて出来ない。



何度も言うようだが、スキーヤーは何処へ行った。
皆ダイレクトコースなのか？

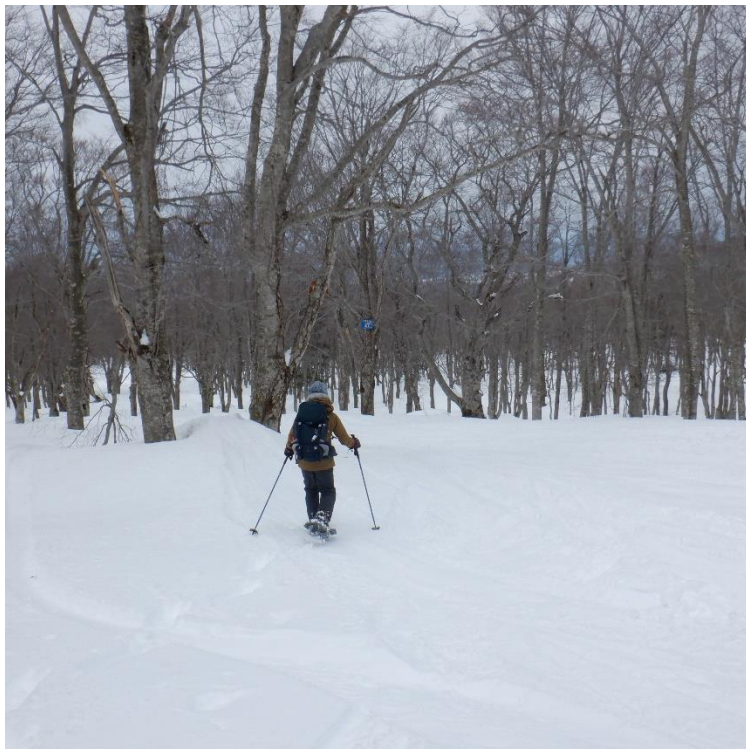
静かなコースを歩きます。



初めて会ったスキーヤーは何とコースの監視員さんでした。「強風でロープウェイは運行中止になりましたので、安心してゆっくり下りてください。」と教えていただきました。何時に中止になったのか聞きそびれましたが、静かな筈です。出会った所が丁度コースの半分ぐらいの地点との事でした。一度も休まずに歩いたので大休止をすることにしました。



初めての大休止。コースは常に貸し切り状態です。



大休止後、山麓駅を目指します。
9番を最後にオレンジポールが無くなり、
コース番号表示も無くなりました。その代
わりに立ち木にフォレストコースの看板が
取り付けてありました。

左手にロープウェイ山頂駅が見え
る。(オレンジ線の黒い点)



頑張りまーす。



山麓駅目指してラストスパートです。
お疲れ様でした。

5キロのスキーコースを3時間強かけて
ゆっくり、下山しました。ロープウェイが動
いていれば、再度乗車し、ダイレクトコース
も下山したかったと欲張りな考えが浮かびま
した。山麓駅12:40分発の酸ヶ湯温泉の
送迎バスで酸ヶ湯温泉に戻りました。

翌17日は横浜に変えるだけでした。短い雪
遊びの日はすぐに終わってしまいました。

